

高円寺純情商店街 (高円寺銀座商店会協同組合)

東京都杉並区

2020年を見据えて、民泊施設を整備し外国人観光客を誘致する



取組の背景

外国人観光客の受け入れに積極的な商店街

2020年のオリンピック・パラリンピックを見据えて、同商店街では2017年に外国人観光客の対応を検討するため、インバウンドに関する調査を実施した。アンケートには、地域住民から観光事業への取組が必要との回答があり、街としても外国人観光客の受け入れに積極的であることが判明した。一方、来街する外国人に対しても調査を実施したところ、高円寺には宿泊施設が少ないとの意見が多いことから、気軽に泊まれる宿泊施設を整備することで外国人観光客の増加が期待できるとの結論に至った。更に、宿泊施設や飲食店にもアンケートを実施したところ、異文化理解や呼びかけを行うためのツールが必要との回答があった。

そこで、外国人観光客の受け入れには、宿泊施設の整備だけでなく、多言語化した観光ガイドブックやポスターの作成、観光ガイドサイトの制作や、Wi-Fi環境の整備・情報発信も必要と考え、地域と商店街が一体的に取組むことになった。



高円寺駅北口の高円寺純情商店街



高円寺純情ホテル

取組の内容

宿泊施設の整備、多言語化、Wi-Fi環境の整備を進める

同商店街では、2017年度に中小企業庁の地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)を活用して外国人観光客を積極的に受け入れるための施策を実施した。

空き店舗を活用した宿泊施設である、高円寺純情ホテルは2018年2月に開業した。高円寺北口エリアにはすでにホテルがあり、商店街内には活用できる空き店

舗が無かったことから、南口エリアから空き店舗を探し、活用することになった。部屋数は各部屋1～3名利用の全5室、定員は10名とし、共同で使用するシャワールームやユニットバス、ラウンジを整備した。

訪れた外国人観光客向けには、観光ガイドブックやグルメガイド、多言語化したポスター・リーフレットを作成し、ホテルや高円寺駅に設置したパンフレットスタンドから無料で配布した。商店街のグルメガイドブックは、お店の紹介と合わせ、日本の居酒屋の紹介や、焼き肉の食べ方を掲載する等、初めて日本を訪れた外国人にとって役立つ情報も紹介し、外国人観光客の一層の取込みを図った。

さらに、高円寺駅北口のロータリーに、フリーWi-Fiの環境を整備した。安定したアクセス環境を整えるとともに、観光ガイドサイトを制作して情報発信を行い、商店街の情報を積極的に発信している。

同商店街は高円寺駅北口をエリアとし、高円寺純情ホテルは南口エリアにあることから、宿泊した観光客は商店街内を回遊しないのではないかとといったことも懸念された。そこで商店街加盟店で利用できるミールクーポンをセットにした宿泊プランや、近くの銭湯を体験できるサービス券、商店街ブランドのお米を使用した「おにぎりサービス券」を配布し、商店街を訪れるよう施策を講じている。結果として商店街加盟店も宿泊施設の運営に関わり、商店街と加盟店が一体的に外国人観光客を受け入れる取組につながっている。



取組の成果

実情に合った事業展開で、安定した運営を実現

2018年2月のオープン以来、ホテルの稼働率は順調に伸び、現在は約8割を維持している。2018年12月時点ですでに翌年のゴールデンウィークの予約が入って

いる状況である。外国人観光客は宿泊予約の半数を占め、あまり想定していなかった地方からの日本人観光客の利用や長期利用等の予約も多い。また、施設の管理運営を運営会社へ委託していることで、安定した運営が可能となり、オープンから1年未満で自主事業として自立、継続できている。

本事業の実施により商店街を回遊する外国人観光客等も増加している。今後は様々な情報発信を積極的に行い、1日の歩行者通行量の目標を年間500人増加を目標としている。2020年のオリンピック・パラリンピック開催で更なる来街者の増加も予想されるため、今後は、外国人観光客や来街者に満足度調査等のアンケートを実施して、課題やニーズを把握・検証し、商店街に対する満足度向上に努める予定である。



高円寺純情ホテル グルメガイド



純情商店街ブランド商品

実施体制

民泊施設は、フロント業務、予約業務、清掃業務等を運営会社に委託し、商店街は運営に関する報告を適宜受けている。施設内にはミールクーポン、グルメガイドブック等を置いて、商店街と加盟店が連携して外国人観光客の受け入れを行っている。得られた収入は、開業時の借入金の返済とランニングコストの支払いに充てており、投下資本の回収を進めているところである。

広報・PRは杉並区役所の広報誌やホームページを利用しており、区役所と連携して外国人観光客の誘致を行っている。また、高円寺純情ホテルは、2019年1月以降「東京観光案内窓口」に指定されており、窓口運営に係る支援を受け、外国人観光客向けにパンフレットや情報端末を設置し、観光案内を行っている。



高円寺純情ホテル フロント

キーパーソンからのコメント

高円寺純情商店街のブランド発信による「まちづくり」

高円寺と言えば阿波おどり、その最大の地域資源を活かし阿波おどりをイメージした商品として、山形県飯豊町産のお米「はえぬぎ」を使用した純情米、その「はえぬぎ」から造った純情純米酒「純情」を純情商店街ブランド商品として創ってきました。これら日本の文化であるお米や人情味あふれる純情商店街と、高円寺の魅力と商店街の賑わいを2020年東京オリンピック・パラリンピック開催で日本

に訪れる多くの外国人観光客に、発信してまいります。

商店街が中心となって行う「まちづくり」により地域の活性化が図られ、訪れた外国人観光客がSNSを通じて高円寺の文化や賑わいを海外に発信することで純情商店街の魅力が高まることを期待します。

高円寺銀座商店会協同組合
専務理事
吉田 善博

商店街の概要

高円寺純情商店街は、1958年に設立された高円寺駅北口を中心エリアとする商店街である。メインの通りの他に、高円寺の地域資源でもある芸術劇場「座・高円寺」へ向かう通りと路地や裏通りで構成され、いまだに下町気質が残る情緒豊かな商店街である。ねじめ正一の小説「高円寺純情商店街」が第101回直木賞を受賞したことをきっかけに、「高円寺純情商店街」の名前が一躍有名になり、地域の人々から親しまれている商店街である。また、周辺には小・中学校、子ども園、保育園等の施設があり、子供を含めた家族連れの利用が多く、住宅街とも密着しているため、高齢者、学生等、幅広い層が買い物等に訪れている。

- 所在地 東京都杉並区高円寺北
- 人口 57万人(杉並区)
- 電話／ 03-3337-2000
- FAX／ 03-3337-2777

- URL <http://www.kouenji.or.jp/>
- 会員数 198名
- 店舗数 250店舗(小売業90店、飲食業65店、サービス業61店、金融業3店、不動産業8店、医療サービス業8店、その他15店)

- 商店街の類型 生活支援型
- 主な客層 主婦、高齢者／50歳代、60歳代